

平成19年度 長良川河口堰県民調査団 要約意見書

(1) 水質・底質について

● 羽島市浄化センター

意見 水質保全のために、必要な施設である。

要望 長良川の水質改善のために、羽島市の下水道整備を強力に推進してもらいたい。

要望 下水道加入率の向上に努力してもらいたい。

質問 地震により施設が動かなくなった場合は、どのように対応するのか。

● 桑原川河川浄化施設

要望 水質浄化事業を、羽島市浄化センターの最終的な整備段階まで継続してもらいたい。

意見 桑原川の水質は年々改善されているのなら、維持管理費の縮減のため、今後の運用についても検討する必要がある。

質問 最大浄化水量0.7 m³/Sの根拠を教えてください。

質問 桑原川河川浄化施設は、増水時において機械等への支障はないのか。

(2) 魚類について

● 長良川河口堰

意見 長良川河口堰の治水効果、利水効果及び環境保全対策について理解できた。

意見 環境保全（特に魚類）に対する努力が感じられた。

要望 今後も河口堰の管理及び環境保全に、努力してもらいたい。

要望 アユの遡上時、降下時だけでもゲートの開放を希望する。

要望 平成19年度はアユの遡上が多く、従来からのアユの遡上量は「自然変動の範囲内にある」ことが証明されたので、昨年9月頃からの河川環境指標と伊勢湾内の水温等の特徴を解析してもらいたい。

(3) その他（治水対策など）について

● 長良川河口堰

要望 環境関連のフォローアップ調査を今後も継続し、「木曾川水系連絡導水路」事業に対処してもらいたい。

意見 完成から12年が経過し、流域住民から長良川河口堰の必要性への意識が薄れてきていると思う。県民調査団の実施は必要であり、有意義なものであると思う。

意見 県民調査団はもうやめるべきではないか。経費削減にもなるだろう。もう地域住民も納得しているはず。

質問 河口堰の堰柱によるせき上げは、どのくらいなのか。

質問 河口堰建設以外に、塩害を防止する方法はなかったのか。

質問 木曾川や揖斐川の塩害はどうなっているのか。

質問 高潮時や津波時はゲートを全開することとなっているが、その場合の塩害対策はどうしているのか。